

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	1-2	安らぎと潤いのある生活空間の創造		
施策	(4)	価値創造のまちづくり		
主な取組 (施策名)	73	市町村緑化推進支援事業	離島振興 計画記載頁	37
対応する 主な課題	本県は亜熱帯性気候に属し、また地理的・地形的条件が他都道府県と異なるため、地球温暖化による影響を独自に予測・分析し、それに合った適応策を検討する必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	都市計画区域内2市に対し、緑の基本計画策定並びに風致地区指定等の地域制緑地制度策定に向けて技術的指導、支援を行い、全市町村で策定することで、都市計画区域内における緑地面積の確保を図る。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	0市 (計画策定 市数)			→	2市		県
	「緑の基本計画」策定に対する市町村への技術的指導・支援					→	
	風致地区指定の促進に向けた市町村への技術的指導						
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
—	—	—	宮古島市及び石垣市と意見交換を行い、「緑の基本計画」策定及び風致地区指定に向けた取り組みを促進する。	—
活動状況			活動実績値	
—			計画策定市数 0市	
推進状況	取組の効果			
<input type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	今後、宮古島市及び石垣市が緑の基本計画並びに風致地区指定等地域制緑地制度について策定を行うことで、都市計画区域内における緑地面積の確保に資することができる。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	平成24年度に北谷町が緑の基本計画を策定。 今後、全市町村が緑の基本計画並びに風致地区指定等地域制緑地制度について策定を行うことで、都市計画区域内における緑地面積の確保に資することができる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
—	—	宮古島市及び石垣市と意見交換を行い、「緑の基本計画」策定及び風致地区指定に向けた取り組みを促進する。	

(3) これまでの改善案の反映状況

緑の基本計画の策定等に向け、働きかけを行っていく。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
	—	—	—	—	—	—
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
緑の基本計画策定市町村数		0市 (H22年)	0市 (H23年)	0市 (H24年)		15市町村 (H24年)
状況説明	平成25年度において、未策定市町村に対し、緑の基本計画並びに風致地区指定等地域制緑地制度の策定を推進することで、都市計画区域内における緑地の確保につながる。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

- ・「緑の基本計画」は、宮古島市及び石垣市が緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを定める基本計画であり、平成25年3月末で両市とも計画未策定であることから、計画策定について理解を求める必要がある。
- ・風致地区は、都市において水や緑などの自然的な要素に富んだ土地における良好な自然的景観を維持するために定められる地域地区であり、各市に対し、風致地区指定について理解を求める必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・緑の基本計画未策定に向けて啓蒙活動を行う必要がある。
- ・風致地区指定に向けて啓蒙活動を行う必要がある。

4 取組の改善案(Action)

○両市と緑化施策について意見交換の実施等啓蒙活動を行うことで「緑の基本計画」の策定及び風致地区の指定について理解を求め、良好な自然環境等の保全を図る地域制緑地の指定に向けた取組を促進する。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	1-2	安らぎと潤いのある生活空間の創造		
施策	(4)	価値創造のまちづくり		
主な取組 (施策名)	74	都市公園における緑化等の推進	離島振興 計画記載頁	37
対応する 主な課題	森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との連携による県民一体となった緑化の推進が必要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	災害時の避難場所、環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出、レクリエーション活動の場としての都市公園整備を行う。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	供用面積増加					→	市町村
	花と緑にあふれる都市公園や緑地の計画的な整備						
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
沖縄振興公共投資交付金(市町村事業)	184,762 (0)	171,445	環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の空間創出に向けて用地取得や駐車場、園路等の公園施設整備を行った。【一括交付金(ハード)】	
活動状況			活動実績値	
環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の空間創出に向けて用地取得や駐車場、園路等の公園施設整備を行った。			用地取得や駐車場、園路等の公園施設整備	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の空間創出に向けた都市公園を整備することで、緑化の推進に資することができる。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の空間創出に向けた都市公園を整備することで、緑化の推進に資することができる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
沖縄振興公共投資交付金(市町村事業)	94,667 (13,317)	環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の創出等に向けた広場、園路等の公園施設の整備を行う。【一括交付金(ハード)】	

(3) これまでの改善案の反映状況

公園整備は、長期間にわたるため、整備の効果を早期に発現に向けて、部分的な供用開始も含めて、効率的かつ効果的な整備に努める必要がある。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
10	都市計画区域における一人当たりの都市公園面積	37.5m ² /人 (22年度)	37.5m ² /人 (23年度)	増加	→	10.7m ² /人 (23年度)
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
—		—	—	—		—
状況説明	成果指標については、基準値と同値であり改善が見られないが、今後、目標達成に向けて効率かつ効果的な整備が図れるよう検討していく。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

公園整備については、長期間にわたり、さらに、予算制約がある中においては、整備効果の早期に発現までに時間を要する。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

予算制約がある中においては、公園整備の効果を早期に発現させるため、部分的な供用開始も含めて、効率的かつ効果的な整備を検討していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

公園整備の効果を早期に発現させるため、部分的な供用開始も含めて、効率的かつ効果的な整備の検討を行う。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	1-2	安らぎと潤いのある生活空間の創造		
施策	(4)	価値創造のまちづくり		
主な取組 (施策名)	75	観光地アクセス道路の重点的緑化事業	離島振興 計画記載頁	38
対応する 主な課題	離島地域は、島々で異なる個性豊かな自然環境、文化、歴史的遺産等を有しており、こうした離島の多様性は観光資源として大きな魅力となっている。観光地へのアクセス道路への亜熱帯性花木植栽や、主要道路の沿道空間の緑化を郊外に残される緑地や農地の自然環境との共生・調和を図りながら沖縄らしい風景を創出し、観光への支援やアメニティ空間の創出が求められている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	亜熱帯の特性を生かした魅力ある花や緑であふれる県土を形成するため、観光地アクセス道路の重点緑化を行い、沖縄らしい風景づくりを推進する。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	0km 道路緑化・重点管理延長			→	70km (累計)	→	
	観光地アクセス道路の緑化・重点管理						
担当部課	土木建築部道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
沖縄フラワークリエイション事業	42,000	11,440	観光地アクセス道路の飾花候補箇所を抽出し、箇所別に飾花方法を検討した。また、一年を通して花いっぱい空間を確保する年間計画を作成した。 【一括交付金(ソフト)】	-
活動状況			活動実績値	
国道390号、高野西里線等の空港・港湾周辺や観光地アクセス道路において、飾花手法や計画を作成した。			道路緑化・重点管理延長 0km (飾花手法や計画の策定のみ)	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	平成24年度は事業開始年度であり、飾花箇所の抽出及び設計のための委託業務を実施した。 平成25年度以降は抽出された路線において事業を実施し、道路飾花による沖縄らしい風景づくりを推進することで、低炭素な都市づくりとともに観光客・県民に喜ばれる環境づくりを図ることができる。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	平成24年度は事業開始年度であり、飾花箇所の抽出及び設計のための委託業務を実施した。 平成25年度以降は抽出された路線において事業を実施し、道路飾花による沖縄らしい風景づくりを推進することで、低炭素な都市づくりとともに観光客・県民に喜ばれる環境づくりを図ることができる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
沖縄フラワークリエイション事業	90,560 (30,560)	平成24年度に抽出・設計した路線の飾花箇所において、緑化コンテナや直植えにより花のあふれる道路空間を形成する。 【一括交付金(ソフト)】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

平成24年度は計画通りの進捗であり、平成25年度から飾花による花いっぱいの道路空間形成を図る。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
	なし	(〇年)	(〇年)			(〇年)
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
		(〇年)	(〇年)	(〇年)	↗	(〇年)
状況説明	平成24年度は事業始年度であり、飾花箇所の抽出及び設計のための委託業務を実施した。平成25年度以降は、抽出された路線における飾花等を実施し、目標達成に向けて事業を推進する。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

観光地周辺における沖縄らしさの創出のため、1年を通して開花を継続させる取組が求められている。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

花の生育・開花の状況を継続して確認する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

定期的なパトロール等により生育・開花の状況を継続的に確認し、飾花箇所の環境条件に応じた適切な花種を選定するなどの改善を行う。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	1-2	安らぎと潤いのある生活空間の創造		
施策	(4)	価値創造のまちづくり		
主な取組 (施策名)	76	主要道路における沿道空間の緑化事業	離島振興 計画記載頁	38
対応する 主な課題	離島地域は、島々で異なる個性豊かな自然環境、文化、歴史的遺産等を有しており、こうした離島の多様性は観光資源として大きな魅力となっている。観光地へのアクセス道路への亜熱帯性花木植栽や、主要道路の沿道空間の緑化を郊外に残される緑地や農地の自然環境との共生・調和を図りながら沖縄らしい風景を創出し、観光への支援やアメニティ空間の創出が求められている。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	亜熱帯の特性を生かした魅力のある花や緑であふれる県土を形成するため、主要道路の沿道空間における植樹等を強化し、沿道環境に配慮したアメニティ空間を創出する。							
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体	
	0km 道路緑化・重点管理延長				→	280km (累計)	→	県
	亜熱帯性気候を活かした道路植栽・街路樹の育成管理							
担当部課	土木建築部道路管理課							

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
-	-	-	沖縄振興特別推進交付金で要望していた事業であるが、採択されなかった。県単独費の道路管理においては、必要最低限の除草等を優先したことにより、街路樹の適正管理を目的とした当該取組が未着手となった。	-
活動状況			活動実績値	
-			-	
推進状況	取組の効果			
<input type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	沖縄振興特別推進交付金で要望していた事業であるが、採択されなかった。県単独費での道路管理においては、必要最低限の除草等を優先したことにより、街路樹の適正管理を目的とした当該取組が未着手となった。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	道路管理においては、必要最低限の除草等を優先したことにより、街路樹の適正管理を目的とした当該取組が未着手となった。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
-	-	-	-

(3) これまでの改善案の反映状況

道路の管理に際し、県単独費の維持管理予算では、必要最低限の除草等の維持管理を優先する必要があることから、街路樹の適正管理を目的とした当該事業への予算配分が困難な状況である。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
	なし	(〇年)	(〇年)			(〇年)
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
		(〇年)	(〇年)	(〇年)	↑	(〇年)
状況説明	沖縄振興特別推進交付金で要望していた事業であるが、採択されなかった。県単独費での道路管理においては、必要最低限の除草等を優先したことにより、街路樹の適正管理を目的とした当該取組が未着手となった。県単独費の維持管理費も含め所用の予算の確保を検討していく必要がある。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

道路の管理に際し、必要最低限の除草等の維持管理を優先する必要があることから、街路樹の適正管理を目的とした当該事業への予算配分が困難な状況である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

本事業の実施に向け、所用の予算を確保する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

主要道路における沿道空間の緑化事業については、適正管理の推進により良好な沿道空間を創出する必要があることから、沖縄振興特別推進交付金での事業化や県単独費である維持管理費も含め所要の予算の確保に努める。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	1-2	安らぎと潤いのある生活空間の創造		
施策	(4)	価値創造のまちづくり イ 花と緑あふれる県土の形成		
主な取組 (施策名)	77	全島みどりと花いっぱい運動事業	離島振興 計画記載頁	38
対応する 主な課題	森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との連携による県民一体となった緑化の推進が必要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	住民を巻き込んだ積極的な緑化活動が必要であり、「緑を創る」ことに加え、保育管理について、効果的な補助制度と普及啓発等とおして、民間への浸透を図ることとする。また、県花であるデイゴの害虫であるデイゴヒメコバチを防除するため薬剤樹幹注入等を実施する。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	行政、団体、企業等との共同による緑化活動の展開					→	県
担当部課	農林水産部森林緑地課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
全島みどりと花いっぱい運動事業	15,163	9,835	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県全島緑化県民運動推進会議 ・CO2吸収認証制度の創出 ・企業との協働による花の名所づくり ・花のゆりかごプロジェクト ・うまんちゅ協働花と緑の美ら島づくり【県単等】 	—
活動状況			活動実績値	
県民による緑化活動(件数)			宮古地域(12件) 八重山地域(10件)	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	観光立県としてふさわしい花と緑いっぱいの地域づくりを支援するため、学校(保・小・中・高校・特別支援)、自治会、県、市町村など地域住民や団体等との協働による緑化活動の推進を図ることができた。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	観光立県としてふさわしい花と緑いっぱいの地域づくりを支援するため、学校(保・小・中・高校・特別支援)、自治会、県、市町村など地域住民や団体等との協働による緑化活動の推進を図ることができた。さらに、第32回全国豊かな海づくり大会において本島内の3農林高等学校の生徒が会場緑化に取り組んだ。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
全島みどりと花いっぱい運動事業	10,000	・沖縄県全島緑化県民運動推進会議、地域推進リーダー会議 ・企業との協働による花の名所づくり ・花のゆりかごプロジェクト ・うまんちゅ協働花と緑の美ら島づくり 【県単等】	-

(3) これまでの改善案の反映状況

<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県全島緑化県民運動推進会議、地域推進リーダー会議 ・企業との協働による花の名所づくり ・花のゆりかごプロジェクト ・うまんちゅ協働花と緑の美ら島づくり 【県単等】

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
-	県民による緑化活動件数	55件 (23年)	68件 (24年)	-	13件	68件 (24年)
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
-		- (〇年)	- (〇年)	- (〇年)	↗	- (〇年)
状況説明	<p>地域の緑化活動への支援を行うことにより、自治体、自治会、学校、企業、その他関係団体による植樹や育樹などの緑化活動が増加した。 特に、宮古地域における緑化団体「美ぎ島グリーンネット」は、平成17年から現在まで延べ46回の植樹・育樹活動を行っている。</p>					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

<p>本事業は、平成23年度から平成25年度までの事業となっている。しかし、地域住民の交流促進や学校・地域の自主活動に役立っている等、県民からの事業継続の要望も強い。</p>

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>民間主導型の緑化活動を喚起し、県民に潤いと安らぎのある生活を提供するだけでなく、将来的に種苗生産者への経済効果、観光振興を下支えする環境づくりが必要である。</p>

4 取組の改善案(Action)

<p>本事業は、今年度までの事業であるが、県民からの事業継続の要望が強いため、平成26年度以降については新たに緑化人材育成等を行うことで継続的な緑化活動を図る。</p>
--

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	1-2	安らぎと潤いのある生活空間の創造		
施策	(4)	価値創造のまちづくり イ 花と緑あふれる県土の形成		
主な取組 (施策名)	78	グリーンコミュニティ支援事業	離島振興 計画記載頁	38
対応する 主な課題	森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との連携による県民一体となった緑化の推進が必要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	住民参加型の緑化活動に必要な苗の生産・供給を行う。また、新たな地域緑化活動の開拓等緑化指導コンサルティングを行う。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	事業実施による緑化活動の支援		新たな事業の実施による緑化活動の支援			→	県
担当部課	農林水産部森林緑地課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
グリーン・コミュニティ支援事業	①45,962 (緑化推進費) ②11,907 (雇用対策推進費)	9,835	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県全島緑化県民運動推進会議 ・CO2吸収認証制度の創出 ・企業との協働による花の名所づくり ・花のゆりかごプロジェクト ・うまんちゅ協働花と緑の美ら島づくり【県単等】 	—
活動状況			活動実績値	
県民による緑化活動(件数)			宮古地域(12件) 八重山地域(10件)	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	観光立県としてふさわしい花と緑いっぱいの地域づくりを支援するため、各地域の学校(幼・小・中・高校・特別支援)、NPO、自治会、県、市町村など地域住民や団体等との協働による緑化活動の推進を図ることができた。また、本事業実施にあたり失業者の雇い入れを行ったことから雇用機会の創出に貢献することができた。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	観光立県としてふさわしい花と緑いっぱいの地域づくりを支援するため、各地域の学校(幼・小・中・高校・特別支援)、NPO、自治会、県、市町村など地域住民や団体等との協働による緑化活動の推進を図ることができた。また、本事業実施にあたり失業者の雇い入れを行ったことから雇用機会の創出に貢献することができた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
グリーン・コミュニティ支援事業	45,339	・苗木生産(播種、床替え、水まき、ポット植え付け等)、配布業務・緑化に関する指導コンサルティング、普及啓発、ニーズ等調査・非正規労働者、中高年齢者等の雇い入れ【各省計上】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

グリーンコミュニティ支援事業事務局の対応について、対応がスムーズで良かったとの意見もある中、配布決定まで時間がかかりすぎとの指摘もあり対応状況に偏りがあることから、さらなる事務作業の合理化を図り、対応の平準化を推進する。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
—	県民による緑化活動件数	55件 (23年)	68件 (24年)	—	13件	68件 (24年)
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
—		— (〇年)	— (〇年)	— (〇年)	↗	— (〇年)
状況説明	地域の緑化活動への支援を行うことにより、自治体、自治会、学校、企業、その他関係団体による植樹や育樹などの緑化活動が増加した。					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

本事業は、単年度事業であり、また事業対象である苗が短期間で生産できる草花類に限定されているため数ヶ月で枯れてしまう等、長期的な取組が難しい。沖縄県全島緑化県民運動推進会議で提唱する「100年先を見据えた緑づくり」を地域・県民が自主的にと取り組むためにも、新たな交付金による事業の推進や、庁内関係部局と連携した取組の検討が必要である。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

現在の事業では短期間で生産できる草花類に生産対象が限定される。多くの種類や数を生産できる反面、数ヶ月で枯れてしまうため長期にわたる観光資源及び地域緑化の景観向上に取り組む必要がある。

4 取組の改善案(Action)

本事業は、緊急雇用創出臨時特例交付金事業のほか、他の交付金を活用した事業推進を検討するとともに、対象となる苗も亜熱帯沖縄の特長を活かした花木や香木を加える。また、庁内的な情報共有を図り他部局と連携した緑化活動を推進する。

【離島】「主な取組」検証票

基本施策	1-2	安らぎと潤いのある生活空間の創造		
施策	(4)	価値創造のまちづくり イ 花と緑あふれる県土の形成		
主な取組 (施策名)	79	緑化推進費	離島振興 計画記載頁	38
対応する 主な課題	森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との連携による県民一体となった緑化の推進が必要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	緑豊かな住みよい環境づくりのため、沖縄県植樹祭、県学校緑化コンクール及び緑の少年団の育成・支援等により緑化推進運動を展開している。						
年度別 取組予定	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	緑化コンクールの開催、緑の少年団の育成等					→	県
担当部課	農林水産部森林緑地課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算	活動内容	備考
緑化推進費	5,968	5,637	緑化の普及啓発を図るため、県植樹祭・県学校緑化コンクール及び緑の少年団の育成・指導等に必要経費【県単等】	-
活動状況			活動実績値	
緑の少年団の結成			28(離島部結成数)	
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 着手 <input type="checkbox"/> 着手予定 <input type="checkbox"/> 未着手	各地の小中学校で緑の少年団が緑化活動を行っており、沖縄本島北部地域で2団、中南部地域で3団、宮古地域で11団、八重山地域で12団が結成されている。			
※参考 21世紀ビジョン実施計画における評価				
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	第63回沖縄県植樹祭では、与那原町「与那古浜公園」にて1,600本のリュウキュウコクタン等が植樹された。また県学校緑化コンクールでは、宜野座高等学校が文部科学大臣賞特選を受賞した。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
緑化推進費	5,212	緑化の普及啓発を図るため、県学校緑化コンクール及び緑の少年団の育成・指導等を行う。【県単等】	—

(3) これまでの改善案の反映状況

植樹祭開催後の現場の様子を把握するとともに、開催後は速やかに森林緑地課ホームページで公開していく。

(4) 主な取組に対応する成果指標の達成状況

No.	主な取組に対応する成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	沖縄の現状
—	県民による緑化活動件数	55件 (23年)	68件 (24年)	—	13件	68件 (24年)
参考データ(離島分)		離島の現状			傾向	沖縄の現状
—		— (〇年)	— (〇年)	— (〇年)	↗	— (〇年)
状況説明	<p>沖縄県植樹祭は、県土緑化の重要性を普及啓発するため、緑化推進運動の中心行事として、昭和26年から毎年開催している。植樹祭は、式典と参加者全員による苗木の植樹作業を行っている。主な参加者／県・市町村議会議員、教育委員会、職員、開催地元の小・中学校、商工会、自治会、企業、町民、その他関係団体</p>					

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

県土緑化の重要性を普及啓発するための重要なイベントである県植樹祭の開催にあたっては、適地選定や財政上の理由から開催地となる候補市町村の選定に苦慮しているため、今後の植樹祭のあり方について検討する必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

沖縄県植樹祭は、平成25年で第64回行っており、今後植樹祭のあり方についても検討していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

県植樹祭の開催地検討委員会において、平成26年以降の開催地の検討にあたっては都市化の進展に伴う新規開校する学校で行うなど緑化の普及啓発を考慮した選定を行うとともに、今後の植樹祭のあり方についても開催方法などの検討を行う。